

## 第 21 回全日本障害者・高齢者 フライングディスク競技大会への支援活動

8月6日(日)に開催された第21回全日本障害者・高齢者フライングディスク競技大会へ、保健学部の門馬 博 学内講師と理学療法学科学生 7 名が運営スタッフとして参加しました。

フライングディスクは性別、年齢、障害の有無を問わず楽しむことができるユニバーサルスポーツであり、今大会でも知的障害、視覚障害、聴覚障害、内部障害、肢体不自由といった障害の種類にかかわらず、また子どもから80代の高齢者の方まで幅広い年代の方々が競技に参加されました。



参加した学生はボランティアスタッフとしてウォーミングアップの補助、選手の招集・誘導などを担当しました。スタッフには選手の個性に応じて支援の仕方を工夫することが求められ、今回の参加を通じ、競技を共に楽しむだけでなく、様々な障害、年代の方と関わることで貴重な経験を得ることができました。



## 総合政策学部の学生提案のイルミネーション装飾とイラストが採用！



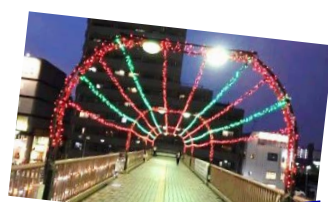
小岩さんから一言  
はむりんの可愛ささと唐辛子を強調した『激辛はむりん』が、多くの宣伝活動に登場し、イベントに貢献ができて嬉しかったです。

10月7日(土)~22日(日) JR 青梅線小作駅で若手事業者が中心となり、地域経済活性化を目指した「第3回はむらイルミネーション」が開催されました。

激辛フェスのイベントでは総合政策学部 木暮ゼミの小岩真生さんが提案した「はむりんのイラスト」が採用されました。また同ゼミの根津佳明さん、堀込真歩さん、碓 大毅さんがイルミネーションのトンネル等の原案を提案しました。何度も地域の方々と検討を重ね、イルミネーションの装飾が完成し、イベントに明るさを届けました。

羽村市からは「学生と地域と行政の協働が素晴らしい輝きとなりました。」と総評を頂きました。

学生にとっては地域をフィールドに個性を活かした有意義な活動ができ、地域活動の意欲にもつながる体験となりました。



根津君の感想  
激辛の唐辛子をイメージにデザインを提案しました。唐辛子はペットボトルで代用しての装飾となりましたが、地域の方々と協力しながら一緒にイルミネーションの装飾を創り上げる貴重な機会となりました。

## 「自助」と「共助」の三鷹市総合防災訓練で保健学部が協力



10月29日(日)に三鷹市立第一中学校(今年度のメイン会場)で雨天のなか訓練を実施しました。災害発生時に備え「自助」と「共助」の為の防災技術や災害対応力の向上を目指した訓練に取り組みました。警察・消防などの防災関係機関だけでなく、医療機関や応急復旧機関などの全面的な協力のもと、多くの体験訓練コーナーや防災情報提供ブースがありました。この活動に、保健学部の救急救命学科の教員3名と学生22名が、一般市民に対するBLS(AED・心肺蘇生)指導を大成高校生(16名)と一緒にブースを設けて実施しました。学生は来場者へ声掛けを行うなど、積極的に訓練への参加を促していました。参加者からは「訓練は初めての参加でしたが、楽しみながら防災について学びました。BLSは何度か体験していますが、回数を重ねる度に新鮮な思いです。学生さんの丁寧な指導でより身に着く感じでした。」と、地域に密着した活動が支援する側も参加された方々にとっても有意義な時間となりました。

### 学生からの一言

子どもが熱心に手順を聞いてくれたのが印象的でした。また何度か経験された方からは“いざと言う時に備え、機会がある毎に参加しています”と伺い、訓練が地域のお役に立っていることを実感しました。

## “三鷹市の医療と福祉”をテーマに、医学部1年生の「地域と大学」の学習発表会を実施。

10月27日(金)に、医学部1年生が地域の医療や福祉の現場について学ぶ科目、「地域と大学」の学習発表会が、三鷹キャンパスの大学院講堂で開催されました。これから医師への道を歩む1年生が、三鷹市の医療や福祉について



### 学生からのコメント

地域の方の視線で医療を知る良い機会となりました。今回の経験が、将来の仕事に活かせるように努力したいです。

各グループで設定した課題に沿って体験的に学んだり、さまざまな立場の方達に話を伺った事をプレゼンテーションしました。この活動は社会が医師や医療従事者に望んでいることを実感できるカリキュラムとなっています。16グループの中から、最優秀賞、優秀賞が選ばれ、表彰式が行われる予定です。

## ■外国語学部の学生が企画した「駅からハイキング」のプログラムは誰でも参加可能！ ■ “魅せます！江戸の二大上水を巡る三鷹の自然満喫ハイキング”



- 実施日：11月2日(木)～11月6日(月)
- 受付時間：9:30～11:00
- 受付場所：JR三鷹駅(みどりの窓口前)

JR東日本八王子支社ならびに三鷹市観光協会と杏林大学外国語学部・志村良浩ゼミナールの学生10名が協働して作成した「学生が考えた駅からハイキング」のプログラムが完成しました。学生は観光資源の発掘、立ち寄りポイントとして想定している各種事業者との交渉、コースの設定、パンフレットの企画などを担当しました。



### お勧めポイント

玉川上水・神田上水沿いの遊歩道を散策する自然を満喫できるコースを選択。江戸の二大上水を中心に井の頭恩賜公園や牟礼の里公園などを巡り、都会の中にオアシスを感じることもできるルートになっています。秋との出会いを感じながら、素敵なひと時をお過ごしください。

